

## カーボンニュートラル社会の実現に向け実質再生可能エネルギー由来の電気を使用した**実質 CO2 排出量“ゼロ”**の EV バスの運行を開始します

### ～川崎市内初の大型 EV 路線バス導入～

川崎鶴見臨港バス株式会社（取締役社長 平位 武、以下「臨港バス」）は、EV バスを 2 両導入し、2024 年 3 月 26 日から川崎駅を発着する路線を中心に運行を開始いたします。EV バスの動力となる電気にはエバーグリーン・マーケティング株式会社（代表取締役社長 田中 稔道）が提供する、再生可能エネルギー由来の電気を使用することで、EV バスの運行に係る CO2 排出量を実質的に“ゼロ”とすることが可能になります。臨港バスはこれまで川崎駅から川崎病院を結ぶ路線にて「川崎スマート EV バス」を運行し（2015 年 4 月～2023 年 2 月）、また現在もハイブリッドバスの導入や、一部営業所への太陽光発電システムの導入など地球環境負荷を軽減する取組を実施しております。

臨港バスでは、京急グループが掲げる 2050 年カーボンニュートラルの達成に向け、引き続き環境負荷の少ないバスの導入をはじめとする地域環境の保全に取り組んでまいります。詳細は下記の通りです。

#### 記

### 1. CO2フリー電気の使用について

EV バスは従来の軽油を使用して走行するディーゼルバスとは異なり、バスに搭載の蓄電池に電気を充電して走行します。今回、EV バスの導入に合わせ浜川崎営業所、神明町営業所に設置した EV バス用の急速充電器が使用する電気は浜川崎営業所（低圧）はエバーグリーン・リテイリング株式会社、神明町営業所（高圧）はエバーグリーン・マーケティング株式会社がそれぞれ提供する、再生可能エネルギー由来の CO2 フリー電気※から調達することで EV バス走行による CO2 排出量を実質的に“ゼロ”といたします。

#### 【電気調達イメージ】

#### 《CO2フリー電気を使用しない場合》

火力発電などで発電



CO2 が発生



走行時の CO2 排出なし

#### 《CO2フリー電気を使用する場合》



再生エネルギー由来の電力



トラッキング付  
非化石証書



走行時の CO2 排出なし

**実質的に CO2 発生なし**

※FIT（固定価格買取制度）を含む再生可能エネルギー電気に非化石証書（再エネ指定）を組み合わせた電力と卒 FIT 電力により、実質的に再生可能エネルギー100%の電力とするもの

エバーグリーン・マーケティングおよびエバーグリーン・リテイリングは、「再エネをもっと身近に、グリーンが当たり前の社会を」の経営理念のもと、親会社であるイーレックスグループの持つ豊富な再生可能エネルギーの供給力を背景に、CO2 フリープランをはじめとした、持続可能で脱炭素社会の実現に向けたサービスを提供している小売電気事業者です。

## 2. 運行開始日

2024年3月26日(火)

※EVバスが運行する路線やダイヤの案内は実施しておりません。営業所等へのお問い合わせはご遠慮ください。

## 3. 導入車両

ビーワイディージャパン株式会社 大型 EV バス「K8」(ケーエイト)

|                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 車長×車幅×車高          | 10,500mm×2,495mm×3,270mm |
| ホイールベース           | 5,300mm                  |
| 乗車定員              | 81 人 (座席 27 人)           |
| バッテリー容量 (バッテリー種別) | 314kWh (リン酸鉄リチウムイオン)     |
| 航続距離              | 240km ※冷房起動時             |

## 4. 導入営業所および導入台数

導入営業所：浜川崎営業所 (川崎区鋼管通 5-3-23)、神明町営業所 (幸区神明町 1-73)

導入台数：各営業所 1 台ずつ 計 2 台

## 5. 運行路線

浜川崎営業所…川崎駅前 (川崎駅東口) を発着する路線を主に担当

(川 24 鋼管循環、川 26 富士電機循環、川 28 京町循環、川 29 入船橋循環など)

神明町営業所…川崎駅西口を発着する路線を主に担当

(川 50 鶴見駅西口、川 51 新綱島駅、川 55 横須賀線小杉駅など)

## 6. 車両デザイン

一目で既存のディーゼルエンジンの路線バスとの違いが分かるよう、環境負荷が少なくエコをイメージし臨港バスでは初となるグリーンをベースカラーとした新デザインを採用。車両中央部分から両端に向けグラデーションとすることで全体的に落ち着いた雰囲気としております。



## 7. 災害時のEVバス活用について

EVバスは314kWhという大きなバッテリーを有していることから、バス自体が一つの電源施設ととらえることが出来ます。今後は外部給電器というEVバスから電気を取り出し外部機器に電気を送ることが出来る設備を導入し、非常時や災害時に電源確保することで緊急時でも営業所の運行管理機能を維持することが可能となります。また、バス車内にはUSBポートがついておりスマートフォン等の充電に使用できます。(USBポートは通常の運行時から使用可能です。)



◀車内設置 USBポート例

※一部設置のない座席がございます。

## 8. 試乗会について

一般のお客様を対象に、EVバスの試乗会を開催いたします。

①開催日時：2024年3月25日(月)

①12時30分～ ②13時30分～ ③14時30分～ 各回1時間程度。

②開催場所：川崎鶴見臨港バス(株) 塩浜営業所 (川崎区塩浜3-10-10)

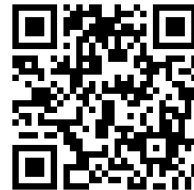
③参加方法：**事前予約制**です。予約の無い方のご参加は出来ません。各回参加人数には定員がございます。先着順となりますのであらかじめご了承ください。予約の申込は下記URLからお申し込みください。

④予約期間：2024年3月18日(月) 10時00分～3月21日(木) 17時00分

※定員に達した場合、期間内であっても受付を終了いたします。

<https://rinko-evbus20240325.peatix.com>

- ・URL または OR コードから web にアクセスの上お申し込み下さい。
- ・お申し込みには Peatix への会員登録 (無料) が必要となります。



以上